

2020年度 活動方針・事業計画

1 活動方針

- ・「なにわエコ会議」は、市民、環境NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな環境問題について取り組み、SDGsの達成に寄与していきます。
- ・環境情報誌「なにわエコウェーブ」の充実や積極的な情報発信や情報共有を通じて、会員団体・役員団体との連携を強化するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深め、なにわエコパートナーの拡大を図ります。
- ・「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「地域と連携した環境教育啓発活動の推進」、「生物多様性の発見と行動の推進」を活動の柱とします。

2 事業計画

【重点項目】

なにわエコ会議として、次の重点項目を掲げ、地球温暖化防止やごみ減量など環境問題の解決に向けたさまざまな取組みを推進し、SDGsの達成に貢献します。

- ① 情報発信を強化し、会員団体・役員団体や環境活動団体との連携を行うとともに、なにわエコ会議の魅力や知名度を高め、子どもや学生など若い世代の参加を促進し、会員数や活動参加者の増につなげていきます。
- ② 「なにわエコ会議賞」を活用し、さまざまな環境活動を積極的に実践している個人や団体を応援していきます。
- ③ 区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を精力的に推進します。
- ④ 地球温暖化防止やプラスチックごみ削減に向け、市内で活動する事業者などと協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。
- ⑤ レジ袋有料化など、レジ袋削減の取組として、エコバックを常時携帯する「大阪エコバック運動」や「天神祭りごみゼロ実行委員会」に参加し、地域ぐるみの資源循環型社会の形成をめざした活動に参画します。
- ⑥ 市内で生物多様性保全に向けて活動する団体と連携、協働を行い、環境や生き物の多様性を守る行動へつなげていきます。

【部会の取組み】

(1) エコライフ部会

地球温暖化の緩和と適応をはじめ、気候変動の影響への対策も踏まえながら、人や環境や社会に配慮した持続可能社会の提案と低炭素社会の構築に向け、市民一人ひとりの実践行動を支援していきます。

- ① 大阪市域の二酸化炭素排出量が増加傾向である家庭部門を主なターゲットとして、冊子「楽しくかしくエコライフ」（改訂版）を活用したセミナーなどを行います。
- ② 日常生活における環境配慮としての、マイバッグの使用、環境配慮商品の選択、食品ロス削減の取組みなどについて啓発し、エコライフを推進するために、マイバッグキャンペーンへの参加、セミナー開催などを行います。

(2) 環境教育・啓発部会

環境問題に関心を持ち活動している個人・団体等と積極的に連携を深め、地域と連携した教育啓発活動を推進するとともに、若い世代の参加を図ります。

- ① 市内各区・団体等のイベントに積極的に参加するとともに、「環境ふれあいひろば」を開催し、地域と連携した取り組みを行います。
- ② イベントの実施にあたっては、保育所・幼稚園・小中学校のPTAや大学・高等学校等の教育機関や環境保全活動に取り組んでいるサークル等との連携を図ります。
- ③ 大阪市の環境副読本である「おおさか環境科」や「食べ残しNOゲーム」（小学生が開発したカードゲーム）などを活用した出前講座を実施します。
- ④ 「エネルギー関連実験機材」「エコすごろく」「エコ紙芝居」「なぞなぞ帳」などの活用を図り、効果的な環境教育・啓発活動を推進します。
- ⑤ 「プラスチックごみ減量」に関する環境問題等の啓発活動を展開します。
- ⑥ 「SDGs」を取り入れた啓発活動を推進します。

(3) 環境に配慮した企業部会

脱炭素社会やプラスチックごみによる海洋汚染の防止など社会の課題に解決に向けて、企業の環境への取組みを促進するために、大阪市、企業・企業団体と連携した活動を推進します。

- ① 脱炭素社会推進やプラスチックごみ削減など大阪市の環境関連施策に協力していきます。
- ② 大阪市環境経営推進協議会の環境活動（セミナーや視察研修会等）に協力していきます。
- ③ エコアクション 21 スクール（講習会）を実施するとともに、環境省の「エコアクション 21CO2 削減プログラム」を活用し、中小企業の環境経営を支援します。
- ④ CO2 削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペを実施し、優秀な事業者には、大阪市と連名で表彰を行います。また、表彰式と併せて環境セミナーを開催します。
- ⑤ 事業者からの希望に応じて、省エネ対策や廃棄物対策など相談を受け付けていきます。

（４）生物多様性部会

生物多様性危機の話題がマスコミなどで頻繁に伝えられ、生物種の絶滅が急速に進んでいると考えられています。生物多様性のバランス崩壊の原因については、乱獲や開発、自然に対する働きかけの縮小（里山の消滅等）、外来種の侵入、地球温暖化等さまざまな要因が考えられています。

現在の経済・社会・環境保全等を担う者は、現状を改めて認識し、改善に努めることはもちろん、次世代を担う子どもたちには生物及びその生息環境を見る目を養い、生物多様性の認識を持つように教育・啓蒙することが重要です。

生物多様性部会は、広く市民に、生物及び生物多様性に関心を持ってもらうことを目的に、生物多様性保全に関連するさまざまな団体と協働し、「大阪市生物多様性戦略（2018.3）」に基づいた普及・啓発等を行います。

- ① 生物の標本展示や説明・講座の開催などを行います。
- ② 特に、子ども及びその親たちを対象にした生物の観察会などを行います。
- ③ 生物多様性保全に関連するさまざまな団体と協働します。